

問1	私人間の権利や義務をめぐる争いを扱う民事裁判の法廷において、裁判官から見て左右に位置し、互いに向き合って座る当事者の組み合わせとして正しいものはどれですか。 <small>（2018年 富山県公立入試 類似）</small>			
	1. 犯罪を追及する検察官と、弁護人に付き添われた被告人	2. 法律の専門家である弁護人と、くじで選ばれた裁判員	3. 証言を行う証人と、その内容を記録する裁判所書記官	4. 訴えを起こした側である原告と、訴えられた側である被告
問2	日本の行政を担う内閣の組織について、内閣総理大臣とともに内閣を構成する「国務大臣」の任命に関する説明として、憲法の定めにも合致するものはどれですか。 <small>（2019年 大阪府公立入試 類似）</small>			
	1. 国民による直接投票によって選ばれ、国会議員との兼任は禁止されている。	2. 衆議院議長が任命し、行政の実務を専門的に担う各省の事務次官がこれに就任する。	3. 内閣総理大臣が任命し、その人数の過半数は国会議員の中から選ばなければならない。	4. 天皇が国会議員の中から直接指名し、内閣総理大臣の同意を得て任命される。
問3	刑事裁判における「公判前整理手続」が導入された主な目的や背景として、最も適切な説明はどれですか。 <small>（2023年 山梨県公立入試 類似）</small>			
	1. 一般市民が裁判員として参加する際、審理を短期間かつ集中的に行えるよう、事前に論点を絞り込むため。	2. 検察官が独占している起訴の権限を、一般市民の代表がチェックすることで、起訴の適正さを確保するため。	3. 警察による捜査の段階で、被疑者の人権が不当に侵害されていないかどうかを裁判官が事前に確認するため。	4. 一番の判決内容に納得がいかない被告人に対して、二審や三審へ訴える権利をより簡略化して保障するため。
問4	アメリカの政治制度において、行政の長である大統領が選出される仕組みについて述べた文として、最も適切なものはどれですか。 <small>（2022年 沖縄県公立入試 類似）</small>			
	1. 連邦議会において、多数派を占める政党の代表者が議会の指名に基づいて大統領に就任する仕組み。	2. 最高裁判所の裁判官が、法律の専門家としての見地から、国民の投票結果を参考に大統領を任命する仕組み。	3. 国民が大統領選挙を通じて、連邦議会とは独立した形で、自らの支持を背景に大統領を選出する仕組み。	4. 各州の知事が集まる全米知事会議において、互選によって行政の代表者が決定される仕組み。
問5	ある刑事裁判の場面において、裁判の進行を管理し、検察官と弁護人の双方の主張を聞いた上で、最終的に有罪・無罪や刑罰の内容を決定する役割について、正しい説明はどれですか。 <small>（2019年 埼玉県公立入試 類似）</small>			
	1. 裁判官が、中立公平な立場から裁判の進行を司り、憲法や法律に基づいて判決を言い渡す。	2. 弁護人が、国家の代表として起訴状を読み上げ、被告人の犯罪事実を立証する。	3. 被告人が、裁判の主導権を握り、自らの量刑について検察官と合意を形成する。	4. 検察官が、被告人の利益を保護するために、無罪や減刑を求める証拠を提示する。
問6	日本国憲法において「国権の最高機関」とされる国会は、予算の議決以外にも内閣の活動に対して重要な権能を持っています。国民が選挙で選んだ国会議員で構成される国会が、行政の中心となる組織を組織するために行う役割として適切なものはどれですか。 <small>（2017年 福岡県公立入試 類似）</small>			
	1. 内閣が作成した予算案が憲法に違反していないか審査する。	2. 国会議員の中から内閣総理大臣を指名する。	3. 行政各部を指揮監督するための政令を制定する。	4. 内閣が指名した最高裁判所の長官を任命する。
問7	国会で可決された法律が、実際に国民へ周知されるまでの仕組みについて述べた文として、最も適切なものはどれですか。 <small>（2024年 滋賀県公立入試 類似）</small>			
	1. 最高裁判所が法律の憲法適合性を判断した後に、天皇が公布を行う。	2. 天皇がその法律の内容を審査し、承認した後に内閣が公布を行う。	3. 内閣の助言と承認に基づき、天皇が国事行為として公布を行う。	4. 国会が国民に対して直接、法律の内容を官報などで通知する。
問8	衆議院（総議員465名）の選挙結果で人物Zが240票を得て指名され、参議院（総議員245名）の選挙結果で人物Xが130票を得て指名された状況を想定します。両議院の意見を調整する会議でも成案が得られなかった場合、その後どのような手続きを経て結論が出されるか、最も適切な説明を選びなさい。 <small>（2022年 香川県公立入試 類似）</small>			
	1. 両院の意見が一致しない場合は、衆議院と参議院の全議員による合同の本会議を行い、過半数の票を得た者が指名される。	2. 参議院の判断を尊重するため、参議院の議決が国会の議決となり、人物Xが内閣総理大臣に指名される。	3. 衆議院の優越が認められるため、衆議院の議決が国会の議決となり、人物Zが内閣総理大臣に指名される。	4. 国会の議決が成立しないため、一度すべての議決を白紙に戻し、内閣総理大臣指名選挙を最初からやり直す。
問9	国会が制定した法律や内閣が定めた命令などが、国の最高法規である憲法の内容に違反していないかどうかを、裁判所が審査して決定する権限を何といいますか。 <small>（2016年 奈良県公立入試 類似）</small>			
	1. 弾劾裁判権	2. 違憲立法審査権	3. 統治行為論	4. 団体交渉権
問10	天皇が行う国事行為において、なぜ「内閣の助言と承認」が必要であると定められているのですか。その理由として最も適切なものを選びなさい。 <small>（2024年 山形県公立入試 類似）</small>			
	1. 天皇が国政に関する権能を持たず、その行為の責任を内閣が負うようにするため。	2. 国会が天皇の行動を監視し、国民の代表としての意見を反映させるため。	3. 内閣が天皇の地位を上位に置くことで、伝統的な統治形態を維持するため。	4. 天皇が国政に関する実権を持つことで、政治の安定を図るため。
問11	三権分立において、立法・行政・司法の各機関が互いに「抑制と均衡」を保つように設計されている本来の目的として、最も適切な説明はどれですか。 <small>（2020年 沖縄県公立入試 類似）</small>			
	1. 選挙による多数派の意見を、全ての国家機関の判断に即座に反映させるため	2. 専門知識を持つ公務員が、政治家の意見に左右されずに政策を実行するため	3. 政治の決定スピードを速め、効率的な行政運営を行うため	4. 特定の機関による権力の集中や独裁を防ぎ、国民の人権を保護するため
問12	天皇が行う法律の公布や衆議院の解散といった「国事行為」のあり方について述べた文として、憲法の規定に照らして最も適切なものはどれですか。 <small>（2016年 和歌山県公立入試 類似）</small>			
	1. 天皇自らがその内容を決定し、内閣が事後に形式的な承認のみを行う。	2. 最高裁判所が憲法に違反しないか助言を行い、司法院が責任を負う。	3. 内閣が助言と承認を行い、その行為に対して内閣が責任を負う。	4. 国会が事前の承認を行い、その行為に対して国会が責任を負う。

答え合わせ・解説

問1	答え 4 訴えを起こした側である原告と、訴えられた側である被告	民事裁判は、お金の貸し借りや損害賠償など、私人間のトラブルを解決するための手続きです。法廷では、公平な立場である裁判官に対し、訴えを起こした「原告」と、訴えられた「被告」が、それぞれ対等な立場で自らの主張を述べ合います。刑事裁判で登場する「検察官」や「被告人」という呼称とは区別する必要があります。
問2	答え 3 内閣総理大臣が任命し、その人数の過半数は国会議員の中から選ばなければならない。	日本国憲法第68条に基づき、国務大臣は内閣の首長である内閣総理大臣によって任命されます。この際、国務大臣は「文民（軍人でない者）」でなければならないという条件に加え、その人数の過半数は「国会議員」の中から選ばなければならないと定められています。これにより、内閣と国会が密接に連携する議院内閣制の仕組みが担保されています。
問3	答え 1 一般市民が裁判員として参加する際、審理を短期間かつ集中的に行えるよう、事前に論点を絞込むため。	かつての刑事裁判は数ヶ月から数年にわたって飛び石のように開催されることが一般的でしたが、一般市民が参加する裁判員裁判では、仕事や生活への影響を抑えるために数日間で審理を終える必要があります。そのため、公判が始まる前にあらかじめ検察側と弁護側の主張を整理し、効率的に証拠調べを進められるようにするこの制度が不可欠となりました。
問4	答え 3 国民が大統領選挙を通じて、連邦議会とは独立した形で、自らの支持を背景に大統領を選出する仕組み。	アメリカの大統領制では、立法府である連邦議会が統領を選ぶのではなく、国民が参加する大統領選挙（大統領選挙人を通じた間接選挙）によって統領が選ばれます。この仕組みにより、大統領は議会の意向に直接左右されことなく、国民の支持を背景とした強い行政権を行使することができます。日本の議院内閣制のように、議会が政府の首脳を選出する形とは明確に区別されます。
問5	答え 1 裁判官が、中立公平な立場から裁判の進行を司り、憲法や法律に基づいて判決を言い渡す。	裁判官は、検察官と弁護人の対立する主張を公平に聞き、客観的な証拠に基づいて判決を下す役割を担います。検察官は有罪を主張し、弁護人は被告人の人権を守るために無罪や減刑を主張するという役割分担（三者構造）があることで、不当な判決を防ぎ、適正な裁判が保証される仕組みになっています。
問6	答え 2 国会議員の中から内閣総理大臣を指名する。	議院内閣制をとる日本では、行政の長である内閣総理大臣を国会が指名します。これは、主権者である国民から直接選ばれた国会が、行政の拠り所となる人物を決定することで、行政に対する民主的なコントロールを確保するためです。最高裁判所長官の指名は内閣が行い、任命は天皇が行います。また、政令の制定は内閣の権限であり、違憲審査権は裁判所が持つ権限です。
問7	答え 3 内閣の助言と承認に基づき、天皇が国事行為として公布を行う。	天皇が行う「法律の公布」は、日本国憲法第7条に定められた国事行為の一つです。国事行為には形式的な性格があり、天皇が自らの意志で判断するのではなく、必ず内閣の助言と承認が必要となります。これにより、国民主権の原則が保たれています。
問8	答え 3 衆議院の優越が認められるため、衆議院の議決が国会の議決となり、人物Zが内閣総理大臣に指名される。	内閣総理大臣の指名において、衆参両院で異なる人物が指名され、両院協議会でも意見が一致しないときは、衆議院の議決が国会の議決となります。これは「衆議院の優越」の一種です。衆議院は参議院に比べて任期が短く、かつ解散があるため、より最新の国民の意思を反映していると考えられていることから、このような強い権限が与えられています。
問9	答え 2 違憲立法審査権	憲法は国家の最高法規であり、これに反する法律や命令は効力を持ちません。裁判所がこの権限を行使することで、多数決によって成立した法律であっても憲法に違反する場合は無効と判断し、人権を保障する仕組みとなっています。
問10	答え 1 天皇が国政に関する権能を持たず、その行為の責任を内閣が負うようにするため。	日本国憲法第4条には「天皇は、この憲法の定める国事に関する行為のみを行い、国政に関する権能を有しない」と明記されています。もし天皇が自らの判断で国事行為を行えば政治的責任を負うことになりますが、象徴天皇制では、天皇が政治に介入しない代わりに、内閣が助言と承認を通じてすべての責任を負う仕組み（国務大臣の副署など）がとられています。
問11	答え 4 特定の機関による権力の集中や独裁を防ぎ、国民の人権を保護するため	三権分立の核心は「チェック・アンド・バランス（抑制と均衡）」にあります。各機関が互いに干渉し合い、ブレーキをかけ合えるようにすることで、特定の勢力が勝手な振る舞いをできないようにし、結果として国民の自由が守られるようになっています。
問12	答え 3 内閣が助言と承認を行い、その行為に対して内閣が責任を負う。	天皇は憲法の定める国事行為のみを行い、国政に関する権能を持たないため、その行為の内容を自ら決定することはありません。すべての国事行為は、内閣による「助言と承認」に基づいて行われ、その結果生じる政治的・法律的な責任はすべて内閣が引き受けるという民主主義的なコントロールが働いています。